

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月18日	
明治大学の所属学部・研究科	国際日本（学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等）	
留学（渡航）した時の学年	2年生	
帰国年月日	2023年6月5日	
明治大学卒業予定年月	2025年3月	
<b>留学先大学について</b>		
留学先国	アメリカ合衆国	
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校（日本語名） California State University Long Beach（現地言語名）	
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語	
留学期間	2022年8月～2023年6月	
留学先大学で在籍した学年	年生	
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）：  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：	
学年暦 記入例：1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期：8月下旬～12月下旬 3学期：	2学期：1月中旬～5月中旬 4学期：
学生数	約400000人	
創立年	1949年	

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	13,600	1,768,000 円	
宿舍費	8,850	1,150,500 円	
食費	5,150	669,500 円	ミールプラン \$ 4,150、外食費月\$100
図書費	100	13,000 円	教科書代
学用品費		円	
携帯・インターネット費	255	33,150 円	mint mobile
現地交通費		円	大学までは無料のシャトルバス ( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$5,000	650,000 円	月約 \$ 500
被服費	400	52,000 円	
医療費		約 40,000 円	歯医者 (8割は保険でカバー)
保険費		242,415 円	形態：現地大学 (約 135000 円)、明治大 学 (107415 円)
渡航旅費		133,921 円	
ビザ申請費	160	20,800 円	
雑費		約 100,000 円	渡航前のワクチン代
その他		約 5,000 円	生活必需品
その他		円	
合計		4,878,286 円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地：成田空港 目的地：LAX 経由地：	
復路 出発地：LAX 目的地：成田空港 経由地：	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：ZIPAIR 料金：50,981 円 復路 航空会社：ZIPAIR 料金：82,940 円	
∴合計：133,921 円	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店 (店名： )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット (サイト名： )	
<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

 学生寮（寮の名前：Beachside）  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

 個室  相部屋（同居人数 1 人）

3) 共有部分

 バス  トイレ  キッチン（ 自炊可  自炊不可）

4) 住居を探した方法：

大学のハウジングポータルサイトから探しました。

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

寮の施設自体は新しいわけではありませんが、他の寮と違い、バスルームが部屋についているのはよかったです。テスト前はスタディールームもよく使いました。学校には無料のシャトルを使って通わなければなりませんが、15 分間隔でシャトルは出ているので問題なく学校生活を送ることができました。たくさんの友達をビーチサイドで作ることができ、寮には楽しい思い出がいっぱいあります。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）

 なし  
 あり（治療を受けた場所：虫歯ができて現地の歯医者で治療しました）

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）

 なし  
 あり（問題の内容や相談した人等： ）

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

日が落ちた後は外を出歩かないようにしていました。実際に盗難などの被害にあうことはありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

寮の Wi-Fi 接続の良さは部屋によりましたが、私の部屋は問題なく使うことができました。現地で購入した SIM カードも問題なく使用していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

ソニー銀行のデビットカードを渡航前に作成し、現金は現地の ATM から引き出していました。友達と割り勘をしたときに、オンラインで送金できる方が便利だったので、二学期目には現地で口座を開設しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

値段は高いですが日本のスーパーもあるので、ほとんどのものを現地で手に入れられます。ただし、薬は日本のものはなかなか購入できないので持っていくべきだと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）

渡航前に大学から送られてきたメールの指示に従って、クレジットカードで支払いました。春学期の授業料は冬休みに同様の方法で支払いました。

## 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由： )
<b>2)履修登録の時期・方法及び履修制限</b>	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった：	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to Fashion Industry	ファッション産業入門
科目設置学部・研究科	Fashion Merchandising, and Design
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jacquelyn Morell
授業内容	ファッション産業の基礎について学びました。基礎的なファッション用語から、ターゲットマーケットなどファッション産業におけるマーケティング理論まで幅広く学ぶことができました。
試験・課題など	試験 3 回、グループプロジェクト 3 回
感想を自由記入	国際日本学部では開講されていないファッションの授業を受講したいと、留学先を決める段階で考えていました。教授は丁寧に説明してくれる方で、最初は話すスピードの速さに追いつくのが大変でしたが、ファッション産業について学ぶとともに、良いリスニングの練習になったと思います。さらに、グループプロジェクトは毎回スライドを作り、プレゼンをするものだったので、人前で英語で話す練習がたくさんできました。また、友達を作るとても良い機会になりました。徐々にプロジェクトの内容が濃くなり、準備量が増えて大変でしたが、グループのメンバーにも恵まれ先生に良い評価をもらうことができ、達成感がありました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Fashion Strategy for Consumers		消費者のためのファッション戦略	
科目設置学部・研究科	Fashion Merchandising, and Design		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Natalie Arribeno		
授業内容	デザイン、文化、ファッションを基にアパレル業界の戦略について学びました。		
試験・課題など	試験3回、プロジェクト3回		
感想を自由記入	授業内容は Introduction to Fashion Industry と被る部分がありました。プロジェクトはグループのものが1回、個人のものが2回あり、試験は時間無制限で難しいものではありませんでした。他のファッションの授業同様、試験に向けて用語を覚えるだけでなく、実践的に学んだことをプロジェクトで表現できるのが楽しかったです。ただ、教授が他の仕事もしている多忙な方で、突然休講になることが多かったです。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Social Trends and Problems		社会動向と問題	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Carole Campbell		
授業内容	都市、ジェンダー、家族、貧困など様々な角度からアメリカの社会問題について学びました。		
試験・課題など	ディスカッションクエスチョン7回、試験3回、ペーパー3つ		
感想を自由記入	秋学期受講した中で最も難しい授業でした。教授の評価がかなり厳しく、全ての授業に出席し、全ての課題、試験を受けても、設定されている基準が高いため、良い評価を得るのは難しいです。現地の学生でも前学期に単位を落とし、履修し直している人もいました。そのため留学生にはこの教授の授業はあまりおすすめできません。毎授業スライドを使わず淡々と説明する教授の言葉をノートに取るのも、時間制限があるにも関わらず膨大な質問量のペーパーを提出するのも、非常に大変でした。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Gender, Race, Sex, and Societies	ジェンダー、人種、性、社会
科目設置学部・研究科	Women's Gender Sexuality Stds
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Mariam Youssef
授業内容	現代社会における人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティの組織における女性の社会的、政治的従属について、フェミニスト運動やそれにかかわる著作を通して学びました。
試験・課題など	リーディングが毎週、試験2回
感想を自由記入	毎週授業までに読むリーディングの文章量は、週によって様々で、長い文章のときは時間がかかり少し大変でした。国際日本学部でジェンダーの授業を受けていたのでそこで得た知識が役に立ったとともに、さらに国際的な視点からジェンダーの枠組みについて考え直すことができ、よかったです。また、秋学期受講した授業の中で唯一ディスカッションの時間がある授業だったので、現地の学生や留学生と意見交換できる良い機会になりました。授業に出席し、課題をしっかりとやっていればAをもらうことができる授業だと思います。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Fashion Industry Ethics and Social Responsibility	ファッション産業の倫理と社会責任
科目設置学部・研究科	Fashion Merchandising, and Design
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jung Mee Mun
授業内容	ファッション産業に関わる倫理的な問題について学びました。週1対面、週1オンデマンドの授業でした。
試験・課題など	試験3回、グループ課題1回、毎週オンデマンド授業の課題
感想を自由記入	ポディーイメージや労働環境などファッション産業で実際に起こっている問題について学ぶことができ、興味深い授業でした。教授がそれぞれの問題に関わる記事や動画を毎回引用しながら説明してくれたので、理解しやすかったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Fashion Forecasting	ファッションフォーカスティング
科目設置学部・研究科	Fashion Merchandising and Design
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Tae Im Han
授業内容	専門的な用語と共に、ファッションのトレンドやファッション産業がどう動くのかを学びました。
試験・課題など	試験3回、グループプレゼンテーション2回
感想を自由記入	試験はクローズブックで毎回覚える範囲が多く、大変でした。ただ、やればやるほど結果に数字としてでたので頑張り甲斐がありました。グループでの課題はプレゼンテーションに向けての課題も多く、他の授業との両立が大変でしたが、メンバーと協力してやり遂げることができました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Culture and Communication	文化とコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Siara Naqvi
授業内容	難民、メディア、ジェンダーなど様々なトピックに文化とコミュニケーションがどう関わり、影響するのかを考え学びました。
試験・課題など	リーディング、グループ課題、ディスカッションが毎週、ファイナルプロジェクト
感想を自由記入	クラスナンバーが412と、上級生レベルだったので受講するか悩みましたが、実際受講してみると試験は一度もなく、良い意味で教授と生徒の雑談の延長線のような形態の授業で、特に追いつけないなどの心配はありませんでした。ただ、毎週リーディングやTEDtalkを視聴するなどの個人の課題とグループの課題があり時間がかかるもので少し大変でした。人種やジェンダーなど、様々なバックグラウンドを持つ生徒の発言はどれも興味深く、多様性を肌で感じることができる授業で、受講してよかったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
General Psychology	一般心理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Amy Wax
授業内容	心理学の基礎を学びました。
試験・課題など	試験3回、ペーパー3回、実験参加
感想を自由記入	日本語に訳しても難しい用語が多く、それを英語で覚えるのが毎試験大変でした。最初の2回はなかなか良い点をとることができませんでしたが、最後の1回で満足できる点数がとれてうれしかったです。教授は早口な方で、聞き取るのが少し難しく、その分進むスピードも速かったので、授業に出席することがとても重要でした。学期の中で、英語の理解力は伸びた気がします。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL に向けて勉強
	10月～12月	TOEFL 受験、学内選考
留学開始年	1月～3月	出願
	4月～7月	ビザ申請、寮の申し込み、保険申請、航空券購入、ワクチン接種
	8月～9月	8月中旬渡航、中間試験
	10月～12月	期末試験
留学/帰国年	1月～3月	中間試験
	4月～7月	期末試験、6月上旬帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

暖かい場所に留学したいという思いから、カリフォルニアにある CSULB を留学先を選びましたが、結果として大正解の選択でした。周りの友達に非常に恵まれ、楽しい思い出をたくさん作ることができました。立地的にヒスパニックの人が多かったですが、アジア人も多く、人種の違いを肌で感じました。人種だけでなくジェンダーに対する考え方なども、多様性に満ちた場所で、そこで実際に暮らすことで、物事を広く客観的に考える力が付いたと思います。ロングビーチは LA まで車で 30 分程の距離で、遊びに行く場所も多くあります。ロングビーチ自体も、そこまで治安は悪くなく、車やバスで簡単に海に行くこともできる良い場所でした。

授業も幅広い分野で開講されているので、自分の興味のある授業を見つけられると思います。私はファッションの授業を取って見たかったのですが、1 学期に 2 授業ずつと、満足のいく量を学ぶことができました。明治大学ではあまり経験したことが無かった英語でのプレゼンテーションや、グループワークを経験することができよかったです。クラスによっては重めの課題が出ることもありましたが、留学生仲間や現地の学生と助け合いながら、勉強も頑張れました。

留学は実際に現地で生活をし学ぶだけでなく、そのための準備や、帰国後のプロセスなどやることがたくさんあり大変ですが、そのすべての経験が、本当に経験してよかったな、と思える一生モノの財産になりました。2 学期目は日本人の友達が多く帰国してしまい、ホームシックになったり、英語で悩むことも多かったですが、とても優しい現地の友達に支えられ乗り越えることができました。悩んだことも今となっては良い経験だし、良い思い出です。留学に対して不安があり、どうしようか迷っている方がいれば、挑戦してみることを全力でおすすめします。頑張ってください！